

令和3年2月9日

## 2021（令和3）年度春学期の授業の基本方針について

学長 柏木俊彦

本年度、2020（令和2）年度の春学期の授業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、すべての科目をオンライン型で実施しましたが、秋学期は、可能な限りキャンパス内での学びや交流の機会を増やすため、実習科目や演習科目を中心に、一部の科目を対面型で実施してきました。

本学は、授業の在り方として対面型授業を原則と考えております。そのため、来年度、2021（令和3）年度については、学外における感染者数の減少がみられる場合には、実習科目や演習科目に加えて、その他の講義科目についても対面型を増やし、「対面型中心」へとさらに進める方針です。ただし、教室の「密」を避ける必要がある大人数の科目や、オンラインで実施しても対面型と同等の、あるいは、それ以上の教育的効果が期待できる科目を中心に、オンライン型の科目も残すことにします。

ここで、本学における感染防止対策等について説明しておきます。これまでのところ、いずれも軽症でしたが、累計で8名の感染が確認されております。その全員が学外で感染しており、そこから本学の他の学生等に感染した例はありません。感染が全国的に広がるなかで、学外での感染を皆無にすることは難しいと考えますが、学生が学外で感染したとしても、その学生が、学内で他の学生に感染させるリスクをゼロに近づけることを目指して、各種の対策を講じてきております。

来年度の対面型の授業についても、登校時の自動検温、教室内でのマスク着用、常時換気を徹底し、前後・両隣の座席を空ける対応を継続するとともに、体育実技等の実習科目を中心に、授業の進め方について、感染を拡大するリスクがないか、あらためて担当の教員と個別に精査・確認を行うこととしております。

なお、現在のところ、新型コロナウイルスの感染拡大は収まる気配をみせておらず、感染への懸念から、大学へ登校して対面型に出席することが心配だと感じる方もいらっしゃると思います。そのような方については、来年度も、対面型の科目であっても、オンラインによる自宅での受講が可能となるように致します（一部、オンラインによる受講が不可能な科目もあります）。ただし、大学としては、対面型の科目は、ぜひ、対面で受講していただきたいと考えております。対面でも、自宅（オンライン）でも、どちらで受講してもよいとは考えないでください。対面型の科目を自宅で受講できるのは、相当の事情がある方だけを想定していますので、来年度は、保護者と相談の上、学長宛に「オンライン受講希望願」を提出し、学長が認めた場合に限ります。

以上のような方針で来年度春学期の授業を実施する予定ですが、新型コロナウイルスの感染拡大は深刻さを増しており、どのような状況で新年度を迎えることができるのか、予断を許しません。従って、方針は変更の可能性もあることをご承知いただきたいと思っております。ともあれ、感染拡大防止策に万全を期しつつ、本年度以上に良質な授業を実施できるよう、全力を挙げる所存でありますことを申し添えます。